

天使大学大学院 看護栄養学研究科

TENSHI COLLEGE GRADUATE SCHOOL OF
NURSING AND NUTRITION

2027

看護学専攻 (博士前期課程 / 博士後期課程)

栄養管理学専攻 (博士前期課程 / 博士後期課程)



天使大学



北海道に根ざして約80年 地域の中核として健康に寄与し 看護・栄養の観点から未来を切り拓く

現在の日本は、超少子高齢社会に直面しています。とりわけ北海道は都市部と地方との二極化が進み、保健医療福祉サービスを取り巻く地域社会のあり方を見直す転換期にあります。保健・医療・介護の連携体制の整備が進む一方で、医療・介護人材の不足といった課題も顕在化しています。今求められているのは、サポートを受ける側の一人ひとりが自立した生活を営めるような支援です。看護および栄養の観点から人々が主体的に健康管理を行えるように支える力を備え、人々と社会に貢献できる人材の育成が重要だと考えています。

本大学院で身につけてほしいのは、専門分野における高度な知識とデータ分析能力、そして理論的に思考し、リーダーとなり得るマネジメント能力です。強みは、専門職教育に特化した教員陣と、現場に即した実践力を養成できるカリキュラムです。看護学専攻は看護師資格を有していることが入学条件であり、実践的な視点に基づく高度な能力の育成を目的としています。また、栄養管理学専攻は、東北以北において栄養学の博士号を取得できる数少ない大学院でもあります。

論文の作成を支援するために、主任指導教員および副指導教員とともに研究の到達度を可視化する「修士論文リサーチ・ルーブリック」を導入し、客観的な自己評価と研究の質向上を図っていること。学部卒業直後の方はもちろん、現場での経験を積んだ社会人が働きながら学べるように、平日夜間や土曜日にも授業・研究指導を開講していること。看護学専攻と栄養管理学専攻の学生が合同で履修する倫理学やキリスト教、統計学などの科目を通じて、専門領域を越えた相互理解を深める機会があることも本大学院の特徴です。私自身も病院で管理栄養士として勤務しながら本大学院に進学し、修士課程2年、博士課程3年を修了した卒業生の一人です。ぜひ、グローバルな視点を持ち、主体的かつ自立して研究に取り組む意欲のある方の入学を期待しています。

看護栄養学研究科長
中川 幸恵

看護栄養学研究科

〔看護学専攻(博士前期課程・博士後期課程)／栄養管理学専攻(博士前期課程・博士後期課程)〕

教育理念

天使大学大学院看護栄養学研究科は、カトリック教育機関として「愛をとおして真理へ」を建学の精神としています。本研究科はこの建学の精神のもと、看護学・栄養学の各専門分野における高度な専門職業人、教育や専門分野のリーダーとなる人材を育成するとともに、人間の「健康」と「生活」の支援に共通する「看護」と「栄養」を組み合わせさせた学修を通して、地域住民の保健・医療・福祉の発展に寄与します。

教育目的

天使大学大学院看護栄養学研究科は、教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、学術の理論及び応用を教授研究し、建学の理念であるカトリック精神に基づく「愛をとおして真理へ」に生き、知的、専門的及び応用的能力を發揮して、人間愛をもって社会の発展に寄与する高度専門職業人を育成することを目的とします。

人材養成に関する目標を次のとおり定めます。

- (1) 看護学専攻博士前期課程においては、看護学に係る最新の知見と高度な専門技術を学修し、保健医療福祉分野の発展に貢献できる高度な専門性を有する人材を育成する。
- (2) 看護学専攻博士後期課程においては、看護学及び保健医療の発展に貢献し、人々の健康に寄与する研究者、教育者のリーダーとなるこれからの社会のニーズに応え得る人材を育成する。
- (3) 栄養管理学専攻博士前期課程においては、栄養管理学に係る最新の知見と高度な専門技術を学修し、保健医療福祉分野の発展に貢献できる高度な専門性を有する人材を育成する。
- (4) 栄養管理学専攻博士後期課程においては、栄養管理学に係る先端的な教育及び研究を行うことにより栄養管理学の高度の専門知識と技術を教授し、自立して研究活動を行い、卓越した教育上の指導能力を有する人材を育成する。

入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

看護学専攻【博士前期課程】

1. 専門分野の基礎的な知識と技術を有する人
2. 高度な専門職業人として専門分野の発展や社会に貢献する意欲のある人
3. 人間として専門職業人としての倫理観を有する人
4. 専門的なコミュニケーション能力の向上を目指す人
5. 論理的思考と柔軟な発想、グローバルな視点を持って探究できる人
6. キリスト教的人間観に基づく人間愛の実践を志す人

看護学専攻【博士後期課程】

1. 看護学を探究するために必要な基礎学力・研究力を有する人
2. 専門職業人として高度な実践、看護学の発展に貢献したい人
3. 自身の考えを表現し、他者と協働するコミュニケーション能力を有する人
4. 専門職業人としての高い倫理観を探究し、人間愛の実践を志す人

栄養管理学専攻【博士前期課程】

1. 栄養学分野の発展に貢献したい人
2. 栄養管理を行う高度な専門職業人として社会貢献を志す人
3. 栄養管理を行う高度な専門職業人としての高い倫理観を探究したい人
4. 栄養管理に関わる専門的なコミュニケーション能力の向上を目指す人
5. キリスト教的人間観に基づく人間愛の実践を志す人

栄養管理学専攻【博士後期課程】

1. 栄養学分野の発展に貢献できる基礎的な能力を備えている人
2. 栄養管理を行う高度な専門職業人として社会貢献を行う意思のある人
3. 栄養管理を行う高度な専門職業人としての高い倫理観を備えている人
4. 栄養管理に関わる専門的なコミュニケーション能力を備えている人
5. キリスト教的人間観に基づく人間愛の実践を志す人

INDEX

看護学専攻	
博士前期課程	03
【修士論文コース】	03
・基礎看護学領域	
・成人看護学領域	
・老年看護学領域	
・母性看護学領域	
・小児看護学領域	
・精神看護学領域	
・公衆衛生看護学領域	
【高度実践看護師コース】	05
・がん看護・緩和ケアCNS領域	
・老年看護CNS領域	
・精神看護CNS領域	
・在宅看護CNS領域	
【保健師コース】	07
博士後期課程	09
栄養管理学専攻	
博士前期課程	11
博士後期課程	13
学費	14

看護学専攻

博士前期課程〈修業年限〉2年 〈学位〉修士(看護学) 〈入学定員〉14名
 修士論文コース/高度実践看護師コース/保健師コース
 博士後期課程〈修業年限〉3年 〈学位〉博士(看護学) 〈入学定員〉2名

「修士論文コース」

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教の人間観を基盤に看護の理念に基づく倫理観をもって、実践・管理・教育・研究ができる。
- ・専門分野の高度な知識・技術を修得し、理論、分析・評価力を持ち専門性の高い看護実践ができる。
- ・グローバルな視点を持ち、国内外の研究成果を取り入れ、看護実践・研究・教育に貢献できる。
- ・ケアの質向上のためにシステムを評価し、解決に向けて多職種と連携・協働し、環境を調整できる。
- ・専門分野の課題を洞察し、適切な方法を選択し成果をまとめる基礎的研究能力を身に付けている。

カリキュラム・ポリシー

- ・専門性の異なる院生の共通の学修の場をととして、研究や実践の基礎となる理論や学問を学び、総合的な視野をもった実践の基礎的能力を修得するために、両専攻共通科目を配置した。
- ・高度専門職としての看護の実践と研究、教育を推進できる基礎的能力を養うために、看護理論、看護倫理、看護研究、看護教育、看護管理などの専門共通科目を配置した。
- ・高度専門職としての専門基礎となる知識・技術を修得するために、広範囲な学問領域にわたり必要な科目を専門基礎科目として配置した。
- ・専門領域における高度な看護実践や研究に必要な能力を養うことを目的に各専門領域に特論、演習科目を配置し、看護実践やエビデンスを追求し、学修を深める。
- ・高度専門職として看護の責務を遂行するために、自己の課題を見出し、主体的・継続的に学び、科学的に探究する研究の基礎的能力を修得するために、特別研究を行う。

基礎看護学領域

実践の科学である看護学を看護の基本概念から捉え直し、看護とは何か、看護実践とは何かを明確にすることを目指します。看護の臨床現場や看護学生・新人看護師を育成する臨床教育の場に埋め込まれている看護現象の省察を通して、看護の本質に触れながら、看護の対象者の理解、質の高い看護実践および看護技術の探求、実践知への理解を学びます。修士論文では、看護実践の中に立ち現れる様々な疑問、戸惑いなどについて、個々の関心に応じた探究を行います。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

成人看護学領域

社会の変化や医療技術の進歩を背景に、急性期、危機的状況、慢性期、終末期など様々な健康問題を持つ人々が増えています。そのような人々には専門的な看護が必要とされており、そのニーズに応えるべく、各々の健康問題を持つ成人期にある人々とその家族を対象とするのが成人看護学領域です。個々の健康問題に有効な看護実践を行うための諸理論・概念と看護介入モデルを学びます。臨床での疑問を大切に、ゼミやフィールドワークを通して、理論やモデルなどの看護実践での適用を実践的に学び、個々の関心に応じた研究テーマを探究します。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

老年看護学領域

超高齢社会の日本では、社会保障制度や医療制度の改革等高齢者に関わる喫緊の諸問題がある中、住み慣れた地域でその人らしさを保ちながら人生の終焉を迎えることも課題であります。老年看護は医療機関、施設、地域(自宅)と幅広い場所で提供されることから、研究や実践も広い視野からの探求が求められます。当領域では、様々な生活の場で暮らす高齢者への看護のあり方について、国内外の研究文献のクリティークを行い、各自でテーマを絞って探究していきます。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

母性看護学領域

女性と母子、その家族の健康と安全、周産期のリスクの予防、正常性を維持・促進するための看護ケアを検討します。また、ハイリスクにある周産期の女性と母子、その家族がかかえる問題を統合的に捉え、対象者の経験や意思を尊重しながら、健康で安全なくらしにつながる個別的なケアを検討します。女性と母子、その家族をめぐる環境が多様に変化し、複雑化していく中で生じる新たな看護課題を捉え、対応していくための感性と科学的思考力、研究能力を養います。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

小児看護学領域

少子化が進む我が国において、核家族の増加や片親家族の増加、育児不安等、子どもが育つ環境がこれまで以上に変化し、虐待や子どもの貧困、子どもの心の病気など子どもの育ちの課題が増えている。小児看護学領域では、子どもに視点をおき、子どもが健康に育つということ、子どもの自己決定や権利を中心に、医療機関、施設、在宅における看護を議論しながら、各自のテーマを探究していきます。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

精神看護学領域

こころの健康問題を持った人が困難な時期を乗り越え、その人らしさを取り戻して生活していくために、どのような支援ができるかを考えます。こころの健康問題は、家庭、学校、職場、そしてあらゆる生活の場で生じます。身体の問題に伴ってこころの問題が生じることもあります。私たちは、看護の立場からこの問題にどのように取り組むことができるでしょうか。自分が取り組む問題の焦点を明らかにし、適切な方法を選んで研究のプロセスをたどり、修士論文を完成します。取り組む問題は、実践、教育、研究いずれでも可能です。本コースに出願するには**看護師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

公衆衛生看護学領域

地域社会が大きく変化するのに伴って、新たな健康課題に対応できる人材、住民のニーズに基づき、かつ地域特性を生かした健康政策を推進できる行政能力を備えた人材を育成します。本コースは、公衆衛生看護における学識を深め、科学的思考力と研究能力を養い、豊かな人間性に裏付けられた高度な看護専門職業人として保健師をキャリアアップします。本コースに出願するには**看護師及び保健師の免許**が必要です(取得見込み可)。

※長期履修学生制度の利用ができます。

カリキュラム 〈修了要件〉30単位以上

区分		科目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
	看護学専攻 共通基礎科目	看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究) 看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I	看護教育学特論II 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門分野 専門科目	専門基礎科目	病態生理学 臨床薬理学 保健医療福祉政策論 保健医療福祉行政論 疫学・保健統計特論	ヘルスカウンセリング論 代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
	基礎看護学領域	基礎看護学特論I 基礎看護学特論II	基礎看護学演習I 基礎看護学演習II
	成人看護学領域	成人看護学特論I 成人看護学特論II	成人看護学演習I 成人看護学演習II
	老年看護学領域	老年看護学特論I 老年看護学特論II	老年看護学演習I 老年看護学演習II
	母性看護学領域	母性看護学特論I 母性看護学特論II	母性看護学演習I 母性看護学演習II
	小児看護学領域	小児看護学特論I 小児看護学特論II	小児看護学演習I 小児看護学演習II
	精神看護学領域	精神看護学特論I 精神看護学特論II	精神看護学演習I 精神看護学演習II
公衆衛生看護学領域	公衆衛生看護学特論I 公衆衛生看護学特論II	公衆衛生看護学演習I 公衆衛生看護学演習II	
		特別看護研究	

「高度実践看護師コース」

高度実践看護師(専門看護師)教育機関

専門看護師(Certified Nurse Specialist)制度の目的と教育課程

専門看護師制度は、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた専門看護師を社会に送り出すことにより、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的としています。(日本看護協会HP参照)

専門看護師教育課程は、保健・医療・福祉現場において、複雑な健康問題を有する患者にケアとケアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師を養成する教育課程です。(一般社団法人日本看護系大学協議会高度実践看護師教育課程認定規程参照)

多数の修了生が「専門看護師」として活躍しています。

これまでに看護学専攻ホスピス緩和ケア看護学コース修了生が「がん看護専門看護師(CNS)」に認定されています。主に札幌市内のがん診療連携拠点病院で活躍しています。なお、老年看護CNS領域は2019年度、精神看護CNS領域は2020年度に、在宅看護CNS領域は2023年度に開設しました。

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教的人間観に基づく全人的ケアを実践できる。
- ・各専門分野における倫理的配慮意思決定支援ができる。
- ・専門的なエビデンスに基づく実践・相談・教育ができる。
- ・高度なコミュニケーション能力に基づく多職種連携・調整することができる。
- ・組織変革・政策提言に必要な変化エージェントの役割意識を有している。
- ・基本的な研究能力を有し、課題研究を今後の実践に結び付けて説明できる。

カリキュラム・ポリシー

- ・共通科目A群は、看護の実践と研究・教育の基盤となる能力を養うために、看護理論特論、看護倫理特論、看護研究、看護教育特論、看護管理特論、コンサルテーション論を配置した。
- ・共通科目B群は、専門分野の実践の根拠となる基礎的知識の修得のために、基礎科目として、病態生理学、フィジカルアセスメント、臨床薬理学を配置した。
- ・専門分野の専門科目は、専門分野の基礎科目、専門科目における高度な知識・技術・態度を修得し、実践において統合するために専門領域の臨地実習を行う。
- ・課題研究は、専門領域特有の課題を研究し、学位論文としてまとめる科目である。

がん看護・緩和ケアCNS領域 〈取得可能資格〉がん看護専門看護師 受験資格

学士課程で展開した看護学教育を基礎としながら、がん看護・緩和ケア分野で高度実践看護師を養成します。「高度実践看護師」とは、高度な実践・相談・教育・調整・協働・コミュニケーション・倫理的判断・研究を行う能力を持ち、チーム医療の核となって包括的なケアをマネジメントし、その専門領域においてリーダーの役割を果たす看護師のことです。本コースに出願するためには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。※長期履修学生制度の利用ができます。

老年看護CNS領域 〈取得可能資格〉老人看護専門看護師 受験資格

超高齢社会の中で、保健医療福祉の場における高齢者への質の高いケアの提供をしていくためには、高度な看護を実践できる看護師の育成が不可欠です。本コースは複雑な健康問題を抱える高齢者に対して、ケアとケアを統合した看護実践能力を提供する高度実践看護師を養成する教育課程です。ここでは専門看護師として必要な実践は勿論ですが、教育、相談、調整、研究、倫理について学んでいきます。本コースに出願するためには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。※長期履修学生制度の利用ができます。

精神看護CNS領域 〈取得可能資格〉精神看護専門看護師 受験資格

保健・医療・福祉現場で必要とされる看護について、精神看護の観点から、心身両面に関する知識と技術を教授します。複雑な健康問題を有する患者にケアとケアを統合し、卓越した直接ケアを提供するとともに、相談、調整、倫理調整、教育、研究を行い、ケアシステム全体を改善することで、看護実践を向上させる高度実践看護師を養成します。本コースに出願するためには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。※長期履修学生制度の利用ができます。

在宅看護CNS領域 〈取得可能資格〉在宅看護専門看護師 受験資格

疾患や障がいを抱え在宅で療養生活を送る対象者と家族が、個々の生活の場で日常生活を送りながら在宅療養を続けるためには、地域包括ケアから地域共生社会へ向け、既存のケアサービス事業所および多職種との連携が欠かせません。在宅看護・ケアの質向上を目指し、専門看護師の6つの役割(卓越した看護実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究)を果たし、ケアとケアを統合した支援ができる高度実践看護師を養成します。本コースに出願するためには、**看護師免許を有し、3年以上の看護実務経験**が必要です。※長期履修学生制度の利用ができます。

カリキュラム 〈修了要件〉必修科目38単位

区分		科目		
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論	疫学 地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済	国際保健学特論 国際保健学特論演習
	看護学専攻 共通基礎科目	看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究)	看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I 看護教育学特論II	看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		フィジカルアセスメント 病態生理学 臨床薬理学	保健医療福祉政策論 ヘルスカウンセリング論 代謝栄養学特論	環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
がん看護・ 緩和ケアCNS領域	専門分野 専門科目	がん看護学特論I がん看護学特論II がん看護学特論III がん看護学・緩和ケア特論I	がん看護学・緩和ケア特論II がん看護学・緩和ケア演習I がん看護学・緩和ケア演習II がん看護学・緩和ケア演習III	がん看護学・緩和ケア実習I がん看護学・緩和ケア実習II がん看護学・緩和ケア実習III
		がん看護・緩和ケア課題研究		
老年看護 CNS領域	専門分野 専門科目	老年看護学特論I(理論・概念) 老年看護学特論II(健康生活評価) 老年看護学特論III	老年看護学特論IV 老年看護学特論V 老年看護学展開論I	老年看護学展開論II 老年看護学実習I 老年看護学実習II
		老年看護課題研究		
精神看護 CNS領域	専門分野 専門科目	精神看護学特論I 精神看護学特論II 精神看護学特論III 精神看護学特論IV	精神看護学演習I 精神看護学演習II リエゾン精神看護学特論 高度実践精神看護実習I	高度実践精神看護実習II 高度実践精神看護実習III 高度実践精神看護実習IV 高度実践精神看護実習V
		精神看護課題研究		
在宅看護 CNS領域	専門分野 専門科目	在宅看護学特論I 在宅看護学特論II 在宅看護学特論III 在宅看護学特論IV	在宅看護学演習I 在宅看護学演習II 在宅看護学演習III 高度実践在宅看護学実習I	高度実践在宅看護学実習II 高度実践在宅看護学実習III 高度実践在宅看護学実習IV 高度実践在宅看護学実習V
		在宅看護課題研究		

所定の単位を修得し、本コースを修了することにより、日本看護協会が行う認定審査の受験資格を得ることができます。

保健師コース

保健師コース 〈取得可能資格〉保健師国家試験受験資格

本コースにおける所定の単位を修得し、学位論文審査および最終試験に合格すると、**修士(看護学)**の学位が与えられ、**保健師国家試験受験資格**を取得することができます。本コースに出願するには、**看護師の免許**が必要です(取得見込も可)。

※長期履修学生制度の利用はできません。

地域で暮らす人々の健康と生活を護るために高い実践力を備え、
分析力・研究力、政策提言に優れた保健師を養成します。

保健師教育の質の向上が求められています

急速な少子高齢化や疾病構造の変化、地方分権の進展などの社会の変化に伴い、保健師には多様で複雑困難な健康課題を解決する公衆衛生看護の高い実践力が求められています。社会のニーズに応じ地域の課題を解決するための施策を展開する分析力と政策形成力のほか、自然災害や感染症といったあらゆる健康危機に対応する能力を強化する必要性がより一層高まり、2022年度からは指定規則改正に伴い保健師の資格取得に必要な単位数がさらに増加しました。天使大学では、あらゆる健康課題に対応できる能力の獲得を目指し、より充実した教育を提供するため大学院に保健師教育課程を設置しています。保健師として自信を持って働くために大学院への進学をお勧めします。

専門性の高い実践力を身に付けた保健師を養成します

地域の健康課題は複雑化し、生活習慣病、介護予防、児童虐待、メンタルヘルス、感染症、自然災害、健康格差など様々な対策が求められています。保健師には、これらの課題に取り組み立ち向かうための高度な知識と技術が必要であり、「個人・家族、集団を支援する力」と同時に、人々の健康課題の背景にある地域の課題を分析し、住民とともに解決する「地域を支援する力」の両方の実践力が求められます。大学院は2年間で、講義、演習、実習、研究を積み上げ、理論と実践を統合させ、現場の課題を探索できる実践力・研究力のある保健師を養成します。

ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤に、公衆衛生看護専門職としての倫理観を備え、公衆衛生看護実践ができる。
- ・科学的根拠と文化的感受性をもってコミュニティの健康と環境の課題を明らかにできる。
- ・人々の健康増進能力を高め、複雑な健康課題の解決のために関係者と連携・協働してマネジメントできる。
- ・グローバルな視点で将来を見据えて地域ケアシステムを評価し、政策を提言できる。
- ・保健師の責務を遂行するための科学的論理的思考、基礎的研究能力を備え、公衆衛生看護の課題解決に自ら取り組むことができる。

カリキュラム・ポリシー

- ・キリスト教的人間観と公衆衛生看護の理念、看護職としての倫理観のもと公平な看護を自律して実践できる保健師の養成に必要な科目を主体的に学習するプログラムを提供する。
- ・人々の健康を多面的にとらえ科学的根拠をもって分析できる力を育成するために、公衆衛生大学院のグローバルスタンダードとされる分野を網羅する専門基礎科目を提供する。
- ・個人・家族、集団に対する基礎的支援能力を強化するために、援助過程を論理的に思考し、専門性の高い実践に必要な科目を設定し、実習のプログラムを提供し実践能力を獲得する。
- ・地域特性に応じた看護活動を展開できるようになるために、演習と実習を段階的に配置し、地区活動を通して解決に向けた取り組みを住民と協働して実施するプログラムを提供する。
- ・保健師としてグローバルな視点で地域の将来を見据え、人々の健康と生活を護るための社会資源の開拓やケアシステム構築、政策提言できる能力を育成するプログラムを提供する。
- ・保健師としての責務を遂行するために専門性を高め、自己の課題を見出し主体的・継続的に学び、科学的に探究する能力を育成するために、公衆衛生看護課題研究を提供する。

カリキュラム 〈修了要件〉61単位(30単位(修士課程修了に必要な単位)+31単位(保健師国家試験受験資格取得に必要な単位))

区分		科目	
看護学・栄養管理学 両専攻共通科目		倫理学特論 人間関係論特論 研究方法論特論 統計学特論 疫学	地域ケアシステム論 健康行動科学特論 医療情報・医療経済 国際保健学特論 国際保健学特論演習
看護学専攻 共通基礎科目		看護理論特論 看護倫理特論 看護研究法I(量的研究) 看護研究法II(質的研究) 看護教育学特論I	看護教育学特論II 看護管理学特論 家族関係論特論 コンサルテーション論
専門基礎科目		保健医療福祉政策論 保健医療福祉行政論 疫学・保健統計特論 ヘルスカウンセリング論	代謝栄養学特論 環境保健学 健康社会学 医療人類学特論
専門分野 専門科目	保健師コース	公衆衛生看護学特論I 公衆衛生看護学原論 公衆衛生看護活動論I 公衆衛生看護活動論II 健康学習支援特論 家族看護学特論 公衆衛生看護診断 公衆衛生看護管理	健康危機管理特論 産業・学校保健活動論 地域ケアシステム論特論 公衆衛生看護課題研究演習 家族看護継続実習 公衆衛生看護活動実習 公衆衛生看護管理実習I 公衆衛生看護管理実習II
		公衆衛生看護課題研究	

保健師コース 主な就職先 (2023~2025年度)

- ・北海道 ・札幌市 ・千歳市 ・当別町 ・厚沢部町 ・日高町 ・新冠町 ・芽室町 ・清水町 ・士幌町 ・中標津町
- ・神奈川県平塚市 ・神奈川県厚木市 ・KKR札幌医療センター ・コープさっほろ



修了生

看護学専攻
保健師コース2023年3月修了
(天使大学看護栄養学部看護学科 卒業)

所属
江別市子ども家庭部子育て支援課

保健師として自信をもって働くために 必要な2年間

天使大学学部生時代には一次予防に強く関心を持ち、地域で生活する住民の方々にライフサイクルを通して関わることのできる保健師を目指しました。進学先を検討する中で、専門科目と関連科目が充実しており、研究についても学ぶことのできる大学院に魅力を感じ、進学を決めました。

大学院では、臨床経験のある他コースや栄養管理学専攻の院生と講義や研究を共にすることができ、多くの刺激とたくさんの学びがありました。課題研究では、共働き世帯における父親の子どもの食への関わりの実態と関連要因を明らかにすることをテーマに研究しました。調査や分析に四苦八苦しながらも論文を完成させ、学会発表と論文投稿をすることができました。大学院では情報を的確に読み取り分析する力、理論と実践を統合させる力を成長させることができたと感じています。

現在私は、児童福祉に係る業務を担当しています。お子さんが安心安全な環境ですこやかに育つことができるよう、関係機関と連携しながら支援を行っています。大学院での学びを基に、地域の複雑化している健康課題に対応できる保健師を目指し、保健活動を行っていききたいと思っています。

博士後期課程

高度な専門知識と倫理観を備えた 教育者と研究者を育成します。

看護学専攻 博士後期課程は、高度な専門的知識と倫理観に基づき、研究能力、教育力、看護実践の創造、変革力を備えた教育者と研究者を育成します。札幌市への人口・経済の一極集中と、地方の人口減少・過疎化という深刻な健康及び社会の課題を抱える北海道において、看護の視点からの高度な研究能力、教育・指導力、看護の開発力を持ち、地域の看護・保健医療の改革に携わる人材の育成が急務となっています。また、慢性的に不足する地域の保健医療・教育の現場で活躍する教員・指導者の能力向上に貢献します。

教育課程は、コースワークの学びを効果的にリサーチワークに活かし、段階的、計画的に博士論文が作成できるよう基盤科目、専門科目、研究指導科目を配置しています。また、学生の研究テーマ及び専門領域によって科目を選択し、研究課題、研究方法の検討に活用できるよう、学術的かつユニークな科目が用意されています。

ディプロマ・ポリシー

- ・ 高度な専門的知識、技能を有し、教育研究を通して指導的な役割をとる
- ・ 人々の健康や看護実践に関わる課題を専門的に探究し、解決に導く研究を計画、実施する
- ・ 人々の健康課題を解決し、看護学の発展へと導く看護実践の理論と技法を開発する
- ・ 保健医療の現場の変革を目指して社会に働きかける態度・資質を有している
- ・ 高い倫理観と専門職としての責任感をもち、研究に主体的に自律して取り組む

カリキュラム・ポリシー

- ・ コースワークを基盤にリサーチワークを発展させられるよう、系統的に「基盤科目」「専門科目」「研究指導科目」の科目区分を設置しています。
- ・ 高い倫理観に基づく研究者・教育者の育成のため、基盤科目に「生命倫理特論」を必修科目として設置しています。
- ・ 高度な専門知識と研究能力をもち、研究を通して看護及び保健医療の課題を解決する能力を修得するため、基盤科目に「質的研究方法論」「疫学的研究方法論」「データサイエンス演習」「分子生命医学特論」を設置しています。
- ・ 研究課題につながる地域の保健医療、看護実践の状況を多様な視点から専門的知識、理論に基づき科学的に分析し、人々の健康課題を解決し新たな看護を開発する能力を育成する科目として、専門科目に「地域基盤看護学特論」「実践看護学特論」を設置しています。また、特論で分析した健康課題や看護実践上の課題を、さらに文献検討及び討論を重ね研究課題へと焦点化する科目として「地域基盤看護学演習」「実践看護学演習」を設置しています。
- ・ 看護学研究を自律して計画的に推進する能力を修得するため、各学年に「看護学特別研究I」「看護学特別研究II」「看護学特別研究III」を設置し、複数の指導教員により研究の一連の過程を連続的、段階的に指導いたします。

カリキュラム 〈修了要件〉14単位以上

区分	科目	
基盤科目	生命倫理特論 看護理論とその開発 疫学的研究方法論	質的研究方法論 データサイエンス演習 分子生命医学特論
専門科目	地域基盤看護学特論 実践看護学特論	地域基盤看護学演習 実践看護学演習
研究指導科目	看護学特別研究I 看護学特別研究II	看護学特別研究III



これまで看護技術に関する研究を進める中で、自身の視野や思考の壁に直面することが度々ありました。そうした経験を通じて現状を打破し、さらに成長したいという思いが強まり、博士後期課程への進学を決めました。

大学院では、時に困難に直面しながらも、指導教員からの助言や院生との交流を通じて、新たな知見や刺激を得ながら、自身の研究の質を高め、

新たな着地点を目指して、 歩みを進める

在学生

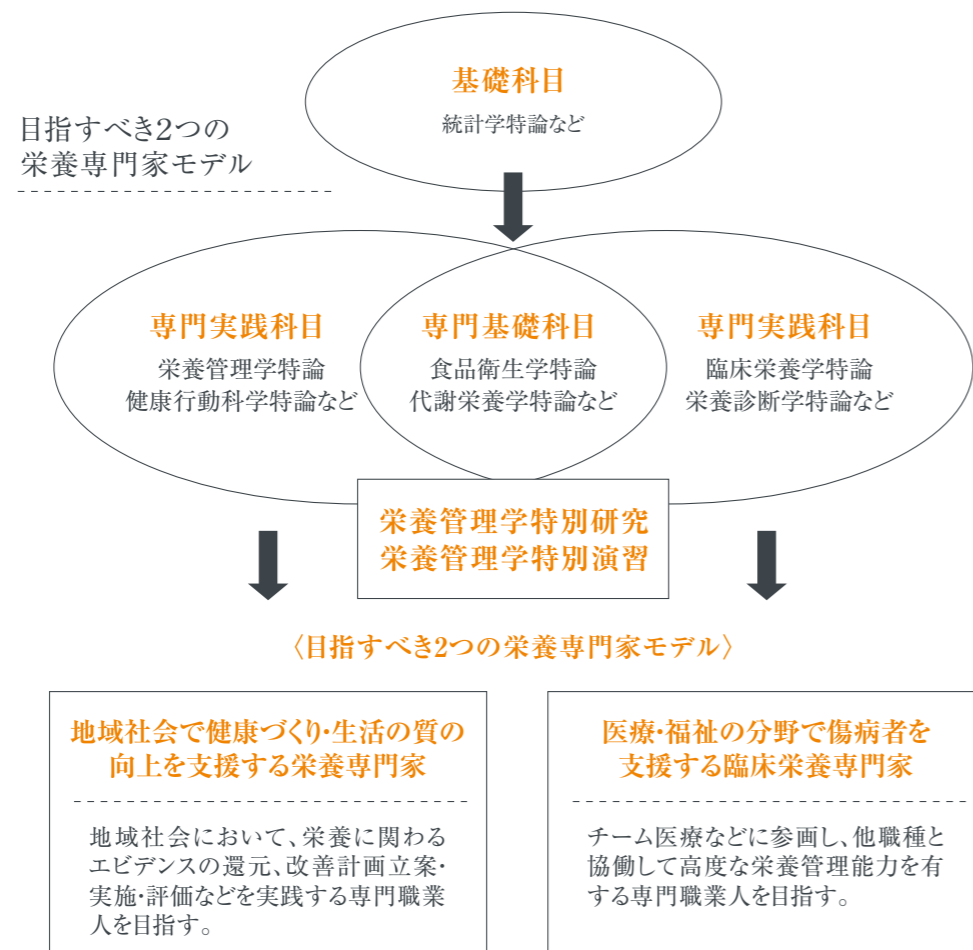
看護学専攻
博士後期課程

新たな着地点に一歩ずつ進んでいることを実感しています。現在、「採血」に関するテーマに取り組んでいます。臨床現場で受け継がれてきた看護技術の中には、まだ言葉にならず、暗黙知として伝えられているものが少なくありません。こうした実践知を丁寧に掘り起こし、可視化し、科学的に検証することで、これからの看護実践に活かしていくことを目指しています。対象者が安心し、信頼して看護を受けられ、看護師が確かな技術を自信をもって実践できるよう、これからの看護の発展に貢献していきたいと考えています。

博士前期課程

学士課程で展開した栄養学教育を基礎としながら、「人間栄養学」のエビデンス(科学的根拠)に基づいたシステマティックな栄養管理を実践できる卓越した専門性を有する管理栄養士の育成を目指します。

※本課程に出願するためには**管理栄養士免許**もしくは、**栄養士免許**が必要です(取得見込みも可)。



ディプロマ・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤に倫理的な配慮を行い、人間の「健康」と「生活」の支援に必要な基礎知識を身に付け保健・医療・福祉に応用できる。
- ・栄養学の専門分野における問題についてグローバルな視点を持って主体的に探究し、連携・調整を図りながら問題解決方法を考えることができる。
- ・栄養学の専門分野における高度な知識を身に付け、研究および栄養管理の実践に適用できる。
- ・栄養学の専門分野における課題について、適切な研究方法を選択し、研究成果としてまとめる事ができる。

藤女子大学大学院間の
単位互換制度を開設しています。

相互の交流および協力の促進と教育の充実を図ることを目的として、単位互換に関する協定を締結しています。

カリキュラム・ポリシー

- ・キリスト教的人間観を基盤にした倫理的な配慮を身に付けるために、両専攻共通科目である倫理学特論、人間関係論特論を配置した。
- ・人間の「健康」と「生活」の支援に必要な学修を通して、地域の保健・医療・福祉の現状について議論できるだけの知識を身に付けるために、医療情報・医療経済、地域ケアシステム論、環境保健学、健康社会学、医療人類学特論を設置した。
- ・グローバルな視点を持つこと、連携・調整を図ることの重要性を学ぶために、健康行動科学特論、ヘルスカウンセリング論、国際保健学特論、国際保健学特論演習を配置した。
- ・専門分野での実践と研究を支える科目を開設し、統計学や疫学の基礎理論を身に付け、主体的に探究し研究する方法を学ぶために、統計学特論、疫学、研究方法論特論を配置した。
- ・食品と栄養に関わる問題を解決するうえで必要とされる高度な知識を身に付け、研究専門分野への応用実践力を養うために、食品衛生学特論、代謝栄養学特論、栄養管理学特論、健康・食行動理論、臨床栄養学特論等の専門基礎科目・専門実践科目を配置した。
- ・栄養学の専門分野の知識を深め、それを応用し演習・研究を行い、自ら問題解決を行う能力と研究能力を養うために、栄養管理学特別研究、栄養管理学特別演習を配置し、個別指導体制の充実を図る。加えて、リサーチ・ルーブリックを導入し、学生の自己評価と主任指導教員と副指導教員の評価をすり合わせることで、改善点や課題を明確にする機会を設ける。

カリキュラム 〈修了要件〉30単位以上

区分	科目				
基礎科目	倫理学特論 統計学特論	疫学 人間関係論特論	研究方法論特論 医療情報・医療経済	国際保健学特論 国際保健学特論演習	
専門基礎科目	食品衛生学特論 食品機能学特論	栄養生理学特論 代謝栄養学特論	地域ケアシステム論 ヘルスカウンセリング論	環境保健学 健康社会学	医療人類学特論
専門実践科目	栄養管理学特論 栄養疫学特論	健康行動科学特論 健康・食行動理論	健康栄養エビデンス論 栄養診断学特論	臨床栄養学特論 栄養管理学特別研究	栄養管理学特別演習

教職課程 (栄養教諭専修免許状)

本学の栄養管理学専攻博士前期課程においては、指定の科目を修得することにより栄養教諭専修免許状を取得することができます。栄養教諭一種免許状を取得している方が対象です。



在学生

栄養管理学専攻
 博士前期課程

将来は栄養教育や地域活動の発展に貢献したい

天使大学看護栄養学部を卒業後、栄養管理学専攻へ進学しました。大学時代に目指していたのは、管理栄養士の国家資格と栄養教諭免許の取得です。そのためには試験勉強に加え、それぞれの実習にも取り組む必要がありました。その中でもっと学びを深めたいと考えたことが大学院進学の原因です。大学時代には子ども食堂や野球少年団で学生コーチのボランティア活動に取り組んだほか、スポーツ栄養に関する資格であるアスリートフードマイスターも取得しました。子どもと関わる中で感じたのは、偏食をはじめとする子ども時代の食習慣の重要性です。しかし、学校や家庭だけでは支えきれない側面もあると考え、地域活動による支援の可能性に関心を持ちました。加えて、近年注目されている朝食欠食は、学習面や精神面、将来の健康にも深く関わる事が指摘されています。そこで、大学院では「朝食欠食改善のための食育イベントの実施をはじめとする体験学習(調理体験)の有効性」「子ども食堂などの地域活動の活用」について研究します。大学院の学びや経験、取得した資格を生かし、将来は栄養教育や地域活動の発展に貢献していきたいと思っています。

博士後期課程

栄養管理学専攻博士後期課程は、人を対象とした人間栄養学の基礎的及び実践的(応用的)研究を通して、ライフステージや環境、あるいは疾病罹患時における生体機能の変化などを的確に把握し、断片的かつ拡散している高度な「栄養」の専門知識を統合理解することで、今日的な栄養学的課題を明らかにし、それらの解決の具体的方策を探り、自立して教育・研究を行い、社会に貢献する人材を育成します。

※長期履修学生制度の利用ができます。

ディプロマ・ポリシー

- ・専門的かつ高度な教育及び研究を通して栄養管理学の先端的および実践的な知識を身に付け、保健・医療・福祉に貢献できる。
- ・栄養管理学に関わる課題においてグローバルな視点を持って主体的に探究し、自立して研究を行うことができる。
- ・栄養学の専門分野における課題について、研究をととして課題解決の方法を提示できる。

カリキュラム・ポリシー

- ・保健・医療・福祉に貢献するために、専門的かつ高度な教育と研究方法の学びを通して、栄養管理学の先端的および実践的な知識を身に付ける科目として研究方法特論を配置した。
- ・栄養管理学に関わる課題においてグローバルな視点を持って主体的に探究し、自立して研究を行う能力を養うために、基礎系と実践系に体系化し、基礎系栄養管理学特論、実践系栄養管理学特論を配置した。
- ・栄養学の専門分野における課題について、研究を博士論文としてまとめ、課題解決の方法を提示できる能力を養うために、基礎系栄養管理学特別研究と実践系栄養管理学特別研究を配置し個別指導体制の充実を図る。加えて、リサーチ・ルーブリックを導入し、年に2回、学生の自己評価と主任指導教員と副指導教員の評価をすり合わせることで、改善点や課題を明確にする機会を設ける。

カリキュラム (修了要件)18単位以上

区分	科目
基礎科目	研究方法特論
専門科目	栄養学特論
研究指導科目	栄養管理学特別研究Ⅰ 栄養管理学特別研究Ⅱ 栄養管理学特別研究Ⅲ



在学生

天使大学大学院看護栄養学研究科
 栄養管理学専攻博士後期課程
 (天使大学看護栄養学部栄養学科 2005年卒
 天使大学大学院看護栄養学研究科
 栄養管理学専攻博士前期課程 2017年修了)
 ※北海道文教大学人間科学部健康栄養学科 准教授

専門職は“一生勉強”

大学卒業後は、介護老人保健施設や病院での勤務を経験し、大学の助手として勤務していました。学生のサポートをしていく中で、自分の経験だけでは不足していると感じ、さらに深く学ぶ必要があると感じました。天使大学大学院栄養管理学専攻博士前期課程に入学して、大学院の先輩や同期、他の専攻の方など様々な勤務経験のある方々と一緒に学び、時にディスカッションをすることで、知見を広げることができました。

その後、博士前期課程を修了し、他大学の教員として勤務しています。現在は栄養教育分野の講義や実習を行っています。しばらくは、慣れない大学教員業務に邁進しておりましたが、さらに高度な研究能力を養うため、2年前に博士後期課程に進みました。現在、食育に関する活動も行っていることから、博士後期課程では食育に関する研究を行っています。やはり、学生を教育しながら研究するという事はなかなか難しいところもあり、長期履修制度を活用しています。大学時代に“一生勉強”というお言葉をいただきましたが、時代の変化に対応しつつ、未来の管理栄養士にも伝えられたらと思います。

学費

納入金

看護学専攻(博士前期課程)入学者

(単位:円)

種別	入学手続時	後期	年額合計
*入学金	150,000 (0)	—	150,000 (0)
授業料	480,000 (340,000)	480,000 (340,000)	960,000 (680,000)
実験実習料 <small>保健師・高度実践看護師コースのみ</small>	25,000 (25,000)	25,000 (25,000)	50,000 (50,000)
*同窓会費	—	50,000 (0)	50,000 (0)
合計	655,000 (365,000)	555,000 (365,000)	1,210,000 (730,000)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生の納入額です。(入学金、授業料、同窓会費を減免)
- 2.*印は初年度のみ納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。
- 4.実験実習費の納入は、保健師・高度実践看護師コースの学生のみです。
- 5.上記のほかに保険料等が追加される場合があります。

栄養管理学専攻(博士前期課程)入学者

(単位:円)

種別	入学手続時	後期	年額合計
*入学金	150,000 (0)	—	150,000 (0)
授業料	300,000 (300,000)	300,000 (300,000)	600,000 (600,000)
施設設備資金	100,000 (50,000)	100,000 (50,000)	200,000 (100,000)
実験実習料	90,000 (90,000)	90,000 (90,000)	180,000 (180,000)
*同窓会費	—	50,000 (0)	50,000 (0)
合計	640,000 (440,000)	540,000 (440,000)	1,180,000 (880,000)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生の納入額です。(入学金、施設設備費、同窓会費を減免)
- 2.*印は初年度のみ納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。
- 4.上記のほかに保険料等が追加される場合があります。

看護学専攻(博士後期課程)入学者

(単位:円)

種別	入学手続時	後期	年額合計
*入学金	150,000 (0)	—	150,000 (0)
授業料	340,000 (340,000)	340,000 (340,000)	680,000 (680,000)
実験実習費	—	—	—
*同窓会費	—	50,000 (0)	50,000 (0)
合計	490,000 (340,000)	390,000 (340,000)	880,000 (680,000)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生、天使大学大学院修士生の納入額です。(入学金、同窓会費を減免)
- 2.*印は初年度のみ納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。
- 4.実験実習費の納入は、保健師・高度実践看護師コースの学生のみです。
- 5.上記のほかに保険料等が追加される場合があります。

栄養管理学専攻(博士後期課程)入学者

(単位:円)

種別	入学手続時	後期	年額合計
*入学金	150,000 (0)	—	150,000 (0)
授業料	300,000 (300,000)	300,000 (300,000)	600,000 (600,000)
施設設備資金	100,000 (50,000)	100,000 (50,000)	200,000 (100,000)
実験実習料	90,000 (90,000)	90,000 (90,000)	180,000 (180,000)
*同窓会費	—	50,000 (0)	50,000 (0)
合計	640,000 (440,000)	540,000 (440,000)	1,180,000 (880,000)

- 1.カッコ内は天使大学・天使女子短期大学卒業生、天使大学大学院修士生の納入額です。(入学金、施設設備費、同窓会費を減免)
- 2.*印は初年度のみ納入です。
- 3.年額を一括納入することができます。
- 4.上記のほかに保険料等が追加される場合があります。

長期履修学生制度

職業を有する等の事情により、標準の修業年限で大学院の課程を修了することが困難な場合、標準の修業年限を超えて計画的に教育課程を履修するための制度です。

対象者

職業を有する等の事情により、標準の修業年限での大学院の教育課程の履修が困難な院生が対象です。ここで言う、「職業を有する等」とは、仕事(正規雇用、非正規雇用などの雇用形態を問わない就業)や家事・育児・介護などの事情により、フルタイム学生としての修学が困難な状況にあることを言います。

看護学専攻および栄養管理学専攻(博士前期課程・博士後期課程)いずれも対象となります(ただし、保健師コースは対象となりません)。

授業料

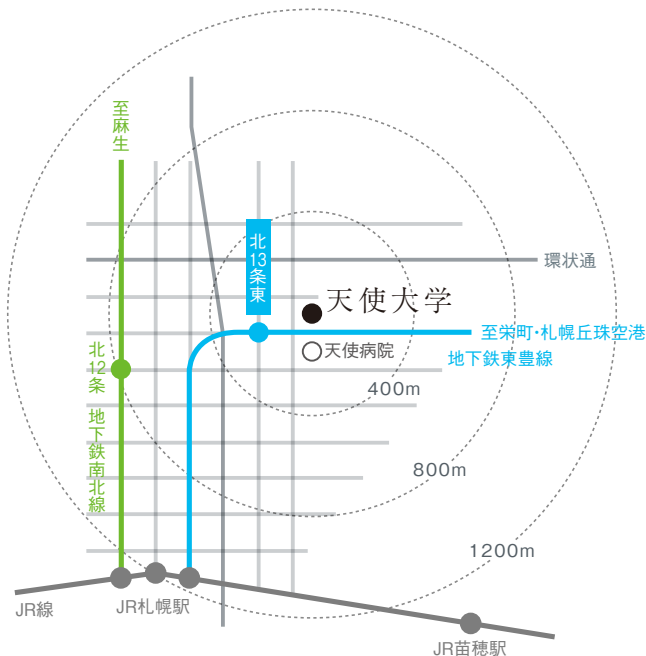
[博士前期課程]

規定の年間授業料等(授業料・施設設備費・実験実習費)の2倍の額を、許可された履修期間で除した額を年度ごとに納入する。

[博士後期課程]

規定の年間授業料等(授業料・施設設備費・実験実習費)の3倍の額を、許可された履修期間で除した額を年度ごとに納入する。

「長期履修制度」の利用を希望する場合の手続きについては、大学までお問合せ下さい。



Access [交通アクセス]

[札幌駅から]

- ◆地下鉄東豊線「北13条東」駅1番出口より東へ徒歩3分
- ◆地下鉄南北線「北12条」駅2番出口より東へ徒歩15分
- ◆JR札幌駅北口からタクシーで5分 徒歩20分

[札幌丘珠空港から]

- ◆バスで札幌駅まで25分

[苗穂駅から]

- ◆タクシーで8分 徒歩30分

[新千歳空港から]

- ◆JRで札幌駅まで37分

大学院 看護栄養学研究科

会場: 天使大学 | 対象者: 本学への受験を希望する方

看護学専攻

オープンキャンパス

- 博士前期課程
高度実践看護師コース 8.1^土
修士論文コース
- 保健師コース 6.13^土
8.1^土

個別相談会

- 博士前期課程
修士論文コース 6.13^土
高度実践看護師コース 8.1^土
保健師コース
- 博士後期課程 9.12^土

※コース・課程により開催日が異なります。
詳しくはホームページをご覧ください。

栄養管理学専攻

説明会・個別相談会

- 博士前期課程 8.7^金
- 博士後期課程

※事前申込みをお願いします。
詳細はホームページをご覧ください。
このほかに平日の個別相談についても受け付けます。



※内容を変更(中止延期等を含む)する場合があります。
お知らせはホームページにて行います。

天使大学

看護栄養学部 / 看護学科・栄養学科
大学院 / 看護栄養学研究科
看護学専攻
栄養管理学専攻
助産研究科 助産専攻(専門職学位課程)

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1番30号

tel.011-741-1051 fax.011-741-1077

<https://www.tenshi.ac.jp>



UNIVERSITY
ACCREDITED
2026.4-2033.3